

国文学研究資料館×実践女子大学文芸資料研究所 共催国際シンポジウム  
後援 レーザーテック株式会社

日時 二〇二三年十二月十七日(日)  
一五時開始 一七時三〇分終了予定

◎プログラム◎

●第一部●

司会 山本和明(国文学研究資料館)

基調報告 佐藤悟(実践女子大学)

一八世紀の草双紙

松原哲子(国文学研究資料館)

古典籍データベース駆動研究センター)

一九世紀の草双紙

佐藤悟

『釈迦八相倭文庫』の表紙における石黄

大和あすか(東京文化財研究所)

保存科学研究センター)

鼎談 草双紙研究の未来について

●第二部●

司会・コーディネーター 松原哲子

高精細顕微鏡で何ができるか

澤山茂(実践女子大学文芸資料研究所)

植村真結(レーザーテック株式会社)

挨拶 国文研の後継計画について

海野圭介(国文学研究資料館)

企画立案 松原哲子



# 草双紙研究の近未来

※オンライン開催

(ZOOM)

—文理融合研究の成果 第二回—

実践女子大学  
オンライン会場



参加申込QRコード

参加申し込み先：<https://forms.gle/J24KL1jLBARfpNYM9>

※その他、イベントに関するお問い合わせは

[bunriyugo.sympto@gmail.com](mailto:bunriyugo.sympto@gmail.com)にお願いします。

※後日You Tubeでのアーカイブ配信を予定しています。